

## 第2次菊川市総合計画策定に伴う「SWOT分析結果」

外部環境（機会、脅威）と内部環境（強み、弱み）の組み合わせから成る4つの領域【成長戦略】、【改善戦略】、【回避戦略】、【改革戦略】ごとに、戦略（解決すべき課題点や課題解決のためのとりくみの方向性）を示します。

■SWOT分析による今後の計画づくりに向けて、解決すべき課題や課題解決の方向性

資料2

		菊川市をとりまく外部環境 プラス要因	菊川市をとりまく外部環境 マイナス要因
		<p>【自然環境】【生活環境】</p> <p>■地域の風土、自然への関心の高まり ■温暖な気候に恵まれる ■エコアクションの効果</p> <p>■循環型社会、自然エネルギーへの関心の高まり ■情報化社会、通信回線の普及</p> <p>【子ども子育て】【教育】【社会教育】</p> <p>■子ども子育て支援法、子どもの貧困対策法が制定 ■子育て支援サービスのニーズの高まり</p> <p>■子育てに対する一層の関心の高まり ■マスコによるフロンティア情報の発信（子育て・暮らしのしやすさ）</p> <p>■高度情報化・ICT先進地区としての認知度が高まる ■いじめ防止への気運の高まり</p> <p>■教育への関心の高まり ■和食の無形文化遺産への登録 ■フジテレビ杯静岡県会場選定（エコパ）</p> <p>■富士山の世界遺産登録 ■東京オリンピックの開催（2020年） ■首都圏からのスポーツ合宿ニーズ</p> <p>【福祉・医療】</p> <p>■C R Cの構築 ■健康志向の高まり（食、自転車、ウォーキング愛好者の増加等）</p> <p>■「健康寿命日本一」（静岡県） ■社会保障改革の進展</p> <p>【産業・就業】</p> <p>■景気の回復調 ■規制緩和によるビジネスチャンスの拡大</p> <p>■内陸フロンティアを拓く取組み ■団塊世代の退職による人材供給</p> <p>【農業】</p> <p>■茶草場農法の世界農業遺産登録 ■お茶の効能に関する立証、再認識</p> <p>■農林水産業に対する注目度の高まり ■農業政策の改革（持続可能な農業）</p> <p>【商業・観光】</p> <p>■中国人、ムスリム観光客の増 ■富士山静岡空港利用者増（中国からのチャーター便）</p> <p>■インターネットショッピングの浸透 ■グリーンツーリズムの推進 ■創業支援の展開</p> <p>【防災・防犯】</p> <p>■津波被害に関する再認識 ■地震対策の進化（静岡県） ■災害対策に係る「絆」の大切さの再認識</p> <p>■安全、防災への関心意識の高まり ■空き家対策法が施行し老朽化した危険な空き家の除去が可能</p> <p>【公共交通】</p> <p>■広域交通利便性が高い ■静岡空港への近接性 ■J R東海道線駅の立地 ■中国人観光客が増加</p> <p>■東名高速道路インターチェンジの立地</p> <p>【都市基盤】</p> <p>■旭テックの撤退による駅周辺の高度利用</p> <p>【土地利用等】</p> <p>■駅周辺等の開発余地の高さ ■政令市（静岡市・浜松市）の中間に位置する立地特性</p> <p>【人口・コミュニティ】</p> <p>■地方創生政策の進行 ■住みやすいまちへの移住意向の向上 ■ふるさと回帰・田舎志向の高まり</p> <p>■地域のつながり（共助）への意識の高まり ■国際交流の進展（外国人観光客の増加等）</p> <p>■民間企業の行政参画・協働意識の定着</p>	<p>【自然環境】【生活環境】</p> <p>□地球温暖化 □異常気象の増加 □環境問題 □消費税増税による個人消費の減少</p> <p>□サラリーマン世帯の総貧困化 □ひとり親家庭の増加 □非正規労働による経済不安</p> <p>【子ども子育て】【教育】【社会教育】</p> <p>□母親の孤立化、虐待 □出生率の低下 □学力の成果主義</p> <p>□子どもの基礎的運動能力の低下 □民間フィットネスクラブへの需要流出</p> <p>【福祉・医療】</p> <p>□社会保障の増大 □中東遠地域の医師不足 □健康への不安（健康志向の高まり）</p> <p>【産業・就業】</p> <p>□中小企業の景気が向上していない □地域経済の衰え □就業環境、賃金低下 □労働者の減少</p> <p>□女性の社会進出を阻む労働環境 □格差社会の進行（雇用問題、経済）</p> <p>□働く場所が無いことによる他市への人口流出</p> <p>【農業】</p> <p>□お茶の価格低迷&amp;国内消費量減 □食糧輸入拡大 □茶の消費方法が安いペットボトルが主流に</p> <p>□荒廃する森林・里山の増加 □食料自給率の低下</p> <p>【商業・観光】</p> <p>□観光名所の少なさ、客数の少なさ □集客性の高い商業施設がない</p> <p>【防災・防犯】</p> <p>□浜岡原発の原子力災害への懸念 □東海地震災害への懸念 □犯罪の増加、凶悪化、低年齢化</p> <p>□異常気象によるゲリラ豪雨、真夏日、台風上陸の回数の増加している</p> <p>【公共交通】</p> <p>□第2東名、リニアの開通</p> <p>【都市基盤】</p> <p>□公共施設に必要な国庫補助金等が削減 □社会資本の老朽化</p> <p>【土地利用等】</p> <p>□東京～名古屋間みると通過地点でしかない □静岡市、浜松市から距離がある</p> <p>【人口・コミュニティ】</p> <p>□首都圏への人材集中、地方人口の減少 □人口増加（定住促進含む）施策を打ち出す □晩婚化、非婚化</p> <p>□少子高齢化・核家族化・独居高齢者 □人間関係の希薄化</p>
		<p>【成長戦略】（強みによって機会をさらに活かす方向）</p> <p>●■自然資源、風景を活かした菊川市のイメージアップ</p> <p>●■環境と共生するまちづくりの実践</p> <p>●■子育てしやすいまちとしてのブランド向上</p> <p>●■ICT環境を活かした教育力の向上</p> <p>●■今後の国際大会開催などを背景にした「スポーツ文化」の醸成</p> <p>●■健康都市としてのイメージアップ</p> <p>●■（内陸フロンティア等）広域プロジェクトの推進による市内産業の活性化</p> <p>●■自然資源、特産物の地域ブランドとしてのブラッシュアップや6次産業化などの展開</p> <p>●■「お茶」を活かしたブランドイメージの見直し、更なる発信</p> <p>●■地域のつながりを活かした防災、減災対策の充実</p> <p>●■広域交通アクセス性を活かした公共交通の充実</p> <p>●■菊川駅周辺等の都市拠点機能の充実</p> <p>●■鉄道駅、ICといった広域交通拠点を中心にした利便性の高い市街地形成を維持</p> <p>●■市民の「地域愛」の醸成や市民参加による、住み良いまちの環境維持</p>	<p>【回避戦略】（強みで脅威を回避・克服する方向）</p> <p>●□残存する自然環境の保全と共生</p> <p>●□生活コストの見直し等経済性を意識した無駄のない日常生活の実践</p> <p>●□居住や子育てに対する環境の優位性を維持</p> <p>●□伸びのび学ぶことのできる環境の維持</p> <p>●□各世代がスポーツに親しめる環境づくり</p> <p>●□既存病院の立地を活かした地域に密着した医療の充実</p> <p>●□地元中小企業等の支援による市内産業力の底上げ</p> <p>●□農業生産の体制・環境の改善</p> <p>●□市の特産品による地域独自ブランドの確立と収益性の確保</p> <p>●□様々な災害リスクへの対応強化</p> <p>●□既存交通拠点の利用促進</p> <p>●□開発コストを抑えた駅周辺整備の促進</p> <p>●□通過利用者に向けた菊川市のPR等</p> <p>●□転入人口、若年齢層人口の定着による都市活力の維持</p>
菊川市の内部環境	強み	<p>【自然環境】【生活環境】</p> <p>●豊かな緑と水に恵まれる ●自然と都市との調和（バランス）がある</p> <p>●茶畑、棚田、菊川（河川）、ホテルの里という特徴的な資源の存在と市民に愛着心がある</p> <p>●温暖な気候に恵まれている ●自然エネルギー利用の可能性（太陽光発電の適地）</p> <p>●安心、ゆとり、のどかな生活環境、住みやすさとの評価 ●ごみのリサイクル率（県内5位）</p> <p>●市民の環境に対する高い意識（リサイクル、ごみ出しマナー等）</p> <p>●生活環境の充実している（病院、公園、商業施設、下水道・・・等）</p> <p>●気候温暖で雪が降らない、日照時間が長い</p> <p>【子ども・子育て】【教育】【社会教育（スポーツ・文化）】</p> <p>●高い出生率、待機児童ゼロ ●学校が楽しいとこたえる子どもが多い ●子供が遊べる公園が多い</p> <p>●教育施設が地域ごとにバランスよく整備されている ●東海4県内で子育てしやすい・住みやすいまちNo.1</p> <p>●市内に高等学校が3校ある ●高い高等学校進学率 ●ICTを活用した教育環境が整っている</p> <p>●学校（教育）に協力的な地域・人材がある ●教育現場における外国人への対応が行き届いている</p> <p>●全国高等学校野球選手権大会優勝経験校がある（常葉菊川高校）</p> <p>●スポーツ活動の場が充実（菊川運動公園等） ●図書館が充実している ●遺跡などの歴史的な資源がある</p> <p>●スポーツ活動が盛ん（野球、バレー、陸上、ウォーキング、G・G、フーバ、トリム、スポレック）</p> <p>【福祉・医療】</p> <p>●公立総合病院が立地している ●障害者の入所施設が多い ●手話通訳派遣制度が整っている</p> <p>●高齢者地域包括支援システムを構築している ●家庭医療センターによる在宅医療を展開している</p> <p>●社会福祉法人活動が活発で、高齢者や障がい者のための支援施設が充実している</p> <p>【産業・就業】</p> <p>●自動車関連の大手企業が立地している（FUJI 00ZX） ●100社以上の様々な企業が集まっている</p> <p>●多様な産業（農、商、工）があり、六次産業化なども進めている ●高卒者の就職が充実している</p> <p>●若い就農者の市内定住といった動きがある ●外部からの参入を受け入れる素地がある ●高い労働力率</p> <p>【農業】</p> <p>●菊川茶（深蒸し茶発祥の地である） ●世界農業遺産「茶草場農法」がある</p> <p>●米、茶、トマト、メロン、芽キャベツなどを特産とし、新鮮な農産物に恵まれている</p> <p>●静岡空港を介して海外連携等の可能性もある ●農業の生産体系が形成されている</p> <p>●整備された樹園地が多い</p> <p>【商業・観光】</p> <p>●地域の名産があり、有名店が立地している。（くずしやり、かりんとう饅頭、さわやか、たこまん）</p> <p>●茶園、棚田と富士山を背景にした特徴的な土地柄（景観）がある ●静岡、浜松のベクトルという立地性</p> <p>●全国的知名度の鉄道撮影スポットがある ●商店街の再整備や、大型店進出による商業環境が充実</p> <p>【防災・防犯】</p> <p>●河川管理が行き届き災害は比較的小さい ●交通事故、火災、犯罪等が少なく安心して暮らせる</p> <p>●東南海地震による被害予想が少ない（沿岸部からの移住者も見られる）</p> <p>●地域コミュニティがあり、防犯対策にも繋がっている ●自治会単位での防災組織がある</p> <p>【公共交通】</p> <p>●JR菊川駅、東名菊川インターチェンジの立地による交通利便性 ●東西の政令都市からの終電駅</p> <p>●静岡空港、新幹線掛川駅、御前崎港への近接性 ●コミュニティバスが運行（低運賃）されている</p> <p>【都市基盤】</p> <p>●一級河川菊川が市を縦断しており整備されている ●東西南北を横断・縦断する市道等が整備されている</p> <p>●駅北地区が開発される ●優良な住宅地がある（駅北開発） ●公園緑地が多い（特に菊川地区）</p> <p>【土地利用等】</p> <p>●静岡県西部と中部の中間点にあたる立地特性 ●駅周辺に開発余地がある ●コンパクトなまちである</p> <p>●住宅規模が安価に確保できる</p> <p>【人口・コミュニティ】</p> <p>●JR菊川駅、東名菊川インターチェンジの立地による交通利便性 ●東西の政令都市からの終電駅</p> <p>●静岡空港、新幹線掛川駅、御前崎港への近接性 ●コミュニティバスが運行（低運賃）されている</p> <p>●人口47,000人は“顔の見えるまち”であり地域づくりが進めやすい</p> <p>●自治会組織やコミュニティ協議会が設立されている。</p>	



第2次菊川市総合計画策定に伴う「SWOT分析結果」

外部環境（機会、脅威）と内部環境（強み、弱み）の組み合わせから成る4つの領域【成長戦略】、【改善戦略】、【回避戦略】、【改革戦略】ごとに、戦略（解決すべき課題点や課題解決のためのとりくみの方向性）を示します。

■SWOT分析による今後の計画づくりに向けて、解決すべき課題や課題解決の方向性

資料2

		菊川市をとりまく外部環境 プラス要因	菊川市をとりまく外部環境 マイナス要因
		<p>【自然環境】【生活環境】</p> <p>■地域の風土、自然への関心の高まり ■温暖な気候に恵まれる ■エコアクションの効果</p> <p>■循環型社会、自然エネルギーへの関心の高まり ■情報化社会、通信回線の普及</p> <p>【子ども子育て】【教育】【社会教育】</p> <p>■子ども子育て支援法、子どもの貧困対策法が制定 ■子育て支援サービスのニーズの高まり</p> <p>■子育てに対する一層の関心の高まり ■マスコによるフシギ情報の発信（子育て・暮らしのしやすさ）</p> <p>■高度情報化・ICT先進地区としての認知度が高まる ■いじめ防止への気運の高まり</p> <p>■教育への関心の高まり ■和食のユネスコ無形文化遺産への登録 ■フグビ-W杯静岡県会場選定（エコパ）</p> <p>■富士山の世界遺産登録 ■東京初ビッグの開催（2020年） ■首都圏からのスポーツ合宿ニーズ</p> <p>【福祉・医療】</p> <p>■C R Cの構築 ■健康志向の高まり（食、自転車、ウォーキング愛好者の増加等）</p> <p>■「健康寿命日本一」（静岡県） ■社会保障改革の進展</p> <p>【産業・就業】</p> <p>■景気の回復基調 ■規制緩和によるビジネスチャンスの拡大</p> <p>■内陸フロンティアを拓く取組み ■団塊世代の退職による人材供給</p> <p>【農業】</p> <p>■茶草場農法の世界農業遺産登録 ■お茶の効能に関する立証、再認識</p> <p>■農林水産業に対する注目度の高まり ■農業政策の改革（持続可能な農業）</p> <p>【商業・観光】</p> <p>■中国人、ムスリム観光客の増 ■富士山静岡空港利用者増（中国からのチャーター便）</p> <p>■インターネットショッピングの浸透 ■グリーンツーリズムの推進 ■創業支援の展開</p> <p>【防災・防犯】</p> <p>■津波被害に関する再認識 ■地震対策の進化（静岡県） ■災害対策に係る「絆」の大切さの再認識</p> <p>■安全、防災への関心意識の高まり ■空き家対策法が施行し老朽化した危険な空き家の除去が可能</p> <p>【公共交通】</p> <p>■広域交通利便性が高い ■静岡空港への近接性 ■J R東海道線駅の立地 ■中国人観光客が増加</p> <p>■東名高速道路インターチェンジの立地</p> <p>【都市基盤】</p> <p>■旭テックの撤退による駅周辺の高度利用</p> <p>【土地利用等】</p> <p>■駅周辺等の開発余地の高さ ■政令市（静岡市・浜松市）の中間に位置する立地特性</p> <p>【人口・コミュニティ】</p> <p>■地方創生政策の進行 ■住みやすいまちへの移住意向の向上 ■ふるさと回帰・田舎志向の高まり</p> <p>■地域のつながり（共助）への意識の高まり ■国際交流の進展（外国人観光客の増加等）</p> <p>■民間企業の行政参画・協働意識の定着</p>	<p>【自然環境】【生活環境】</p> <p>□地球温暖化 □異常気象の増加 □環境問題 □消費税増税による個人消費の減少</p> <p>□サラリーマン世帯の総貧困化 □ひとり親家庭の増加 □非正規労働による経済不安</p> <p>【子ども子育て】【教育】【社会教育】</p> <p>□母親の孤立化、虐待 □出生率の低下 □学力の成果主義</p> <p>□子どもの基礎的運動能力の低下 □民間フィットネスクラブへの需要流出</p> <p>【福祉・医療】</p> <p>□社会保障の増大 □中東遠地域の医師不足 □健康への不安（健康志向の高まり）</p> <p>【産業・就業】</p> <p>□中小企業の景気が向上していない □地域経済の衰え □就業環境、賃金低下 □労働者の減少</p> <p>□女性の社会進出を阻む労働環境 □格差社会の進行（雇用問題、経済）</p> <p>□働く場所が無いことによる他市への人口流出</p> <p>【農業】</p> <p>□お茶の価格低迷&amp;国内消費量減 □食糧輸入拡大 □茶の消費方法が安いペットボトルが主流に</p> <p>□荒廃する森林・里山の増加 □食料自給率の低下</p> <p>【商業・観光】</p> <p>□観光名所の少なさ、客数の少なさ □集客性の高い商業施設がない</p> <p>【防災・防犯】</p> <p>□浜岡原発の原子力災害への懸念 □東海地震災害への懸念 □犯罪の増加、凶悪化、低年齢化</p> <p>□異常気象によるゲリラ豪雨、真夏日、台風上陸の回数の増加している</p> <p>【公共交通】</p> <p>□第2東名、リニアの開通</p> <p>【都市基盤】</p> <p>□公共施設に必要な国庫補助金等が削減 □社会資本の老朽化</p> <p>【土地利用等】</p> <p>□東京～名古屋間みると通過地点でしかない □静岡市、浜松市から距離がある</p> <p>【人口・コミュニティ】</p> <p>□首都圏への人材集中、地方人口の減少 □人口増加（定住促進含む）施策を打ち出す □晩婚化、非婚化</p> <p>□少子高齢化・核家族化・独居高齢者 □人間関係の希薄化</p>
菊川市の内部環境 弱み	<p>【自然環境】【生活環境】</p> <p>○水道料金の負担感 ○市民の憩いの場が少ない ○子供だけで安心して遊べる所が少ない</p> <p>○高齢世帯の増加と空家化の懸念</p> <p>【子ども子育て】【教育】【社会教育（スポーツ・文化）】</p> <p>○高齢世帯の増加と空家化の懸念 ○子ども・子育て ○子育てと仕事との両立、経済的な不安</p> <p>○子育て支援ニーズの多様化とサービスの対応への不安</p> <p>○高等教育機関（専門学校や大学）が無い ○偏差値の高い中・高校の存在が都市部に比べ劣る。</p> <p>○外国人の就学について不安定 ○地域や家庭の教育力の低下 ○学校における中堅教員の不足</p> <p>○学校施設や設備の老朽化 ○総合的な体育（屋内）施設の不足</p> <p>○学校体育の弱体化や若い年代層のスポーツへの関わりの減少</p> <p>○スポーツ指導者、トップアスリートなどの不在 ○映画館や美術館がない</p> <p>【福祉・医療】</p> <p>○社会保障費の増加 ○総合病院の機能低下（医師数、診療科目の減少）</p> <p>○夜間や休日の緊急医療体制への不安 ○障がい者福祉に対する不安</p> <p>【産業・就業】</p> <p>○企業誘致用地の不足 ○若年層の地元雇用状況 ○女性や高齢者、障がい者等の多様な雇用体制</p> <p>○業種の偏り（製造業偏重） ○魅力的な工業団地がない</p> <p>【農業】</p> <p>○農家の高齢化、後継者不足 ○農産物の価格低迷 ○農地転用が難しい、耕作放棄地の増加</p> <p>○特産物の知名度（ブランド力）の低さ、PRの不足 ○茶に依存した農業体系</p> <p>【商業・観光】</p> <p>○駅前などの拠点的な商業地の不在 ○商店街、個人商店、IC前、市南部の衰退</p> <p>○外部から人を呼び込める観光地、観光施設がない ○「菊川」の低知名度 ○PRの不足</p> <p>○魅力的な集客施設がない</p> <p>【防災・防犯】</p> <p>○水害・冠水被害の想定される地域がある ○地盤のよくない地域がある（南部）</p> <p>○原子力発電所に近接している</p> <p>【公共交通】</p> <p>○全般的に公共交通機能が不十分 ○J R菊川駅に北口がない、駐車場が少ない、電車の本数が少ない</p> <p>○バス路線が網羅されていない。本数が少ない ○自家用車利用の浸透</p> <p>【都市基盤（拠点・道路・住宅・上水道）】</p> <p>○公共施設ストックの維持費増加 ○地形特性による道路網の分断 ○空き家の増加</p> <p>○下水道の低普及率</p> <p>【土地利用等】</p> <p>○駅やインターチェンジ周辺の低利用 ○まちなかと周辺との土地利用の差異</p> <p>【人口・コミュニティ】</p> <p>○人口減少 ○高齢化の進行、若者減少 ○中心市街地以外的人口減少</p> <p>○人口増加地区と減少地区との差が拡大 ○若年世代の転出と未回帰</p> <p>○若者の交流の場が少ない、地元への愛着度が低い ○核家族の増加と世代間交流の減少</p> <p>○外国人人口が多い ○交流人口が少ない</p>	<p>【改善戦略】（機会を逃さないように弱みを改善する方向）</p> <p>■○自然と調和した屋外環境（施設・公園・空き地等）の整備</p> <p>■○学力の向上、進学に対する相談機会等の充実</p> <p>■○スポーツ、地域文化に対する市民の関心を醸成</p> <p>■○市民の見守りに基づく地域コミュニティ機能の充実（地域福祉の展開）</p> <p>■○産業活動における新規参入の促進</p> <p>■○菊川の「特産物」のPR</p> <p>■○広域交通アクセス性を活かした市外からの人の誘導</p> <p>■○災害危険箇所の再確認と地域の協力に基づく整備の推進</p> <p>■○広域交通網とのアクセス性向上（コミバス・道路整備等）</p> <p>■○菊川駅周辺市街地の改善</p> <p>■○生産活動と居住、自然環境のバランスに配慮した市街地形成</p> <p>■○住民主体による地域に身近なまちづくりの展開</p>	<p>【改革戦略】（最悪の事態を招かないように弱みを克服し改革する方向）</p> <p>□○暮らしに身近な（商店、各種生活サービス機能を有する）施設の確保</p> <p>□○高等・専門性の高い教育機関の誘致検討</p> <p>□○スポーツに親しむ機会の充実、啓発活動の推進</p> <p>□○安定的な財源確保と効率的な福祉サービスの実践</p> <p>□○雇用促進策の展開</p> <p>□○農業従事者の多面的な確保</p> <p>□○菊川駅周辺等の再活性化の推進</p> <p>□○ハザードマップ等の見直し、周知</p> <p>□○交通機関への利便向上の要請</p> <p>□○公共施設ストックの適切な維持・管理及び整備の推進</p> <p>□○菊川駅周辺地域の外部からの吸引力向上</p> <p>□○若年世代に対する菊川市の住み良さ等のPR</p>



# 今後のまちづくりの方向性<SWOT分析結果>

## <菊川市の地域特性(SWOT分析)>

### 成長戦略(強みによって機会をさらに活かす)

- ①自然資源、風景を活かした菊川市のイメージアップ
- ②環境と共生するまちづくりの実践
- ③子育てしやすい、子どもにやさしいまちとしてのブランド向上
- ④ICT環境を活かした教育力の向上
- ⑤今後の国際大会開催などを背景にした「スポーツ文化」の醸成
- ⑥健康都市としてのイメージアップ
- ⑦(内陸フロンティアを拓く取組等)広域プロジェクトの推進による市内産業の活性化
- ⑧自然資源、特産物の地域ブランドとしてのブラッシュアップや6次産業化などの展開
- ⑨「お茶」を活かしたブランドイメージの見直し、更なる発信
- ⑩地域のつながりを活かした防災、減災対策の充実
- ⑪広域交通アクセス性を活かした公共交通の充実
- ⑫菊川駅周辺等の都市拠点の充実
- ⑬鉄道駅、ICといった広域交通拠点を中心にした利便性の高い市街地形成を維持
- ⑭市民の「地域愛」の醸成や市民参加による、住み良いまちの環境維持

### 回避戦略(強みで脅威を回避・克服する)

- ①残存する自然環境の保全と共生
- ②生活コストの見直し等経済性を意識した無駄のない日常生活の実践
- ③居住や子育てに対する環境の優位性を維持
- ④伸びのび学ぶことのできる環境の維持
- ⑤各世代がスポーツに親しめる環境づくり
- ⑥既存病院の立地を活かした地域に密着した医療の充実
- ⑦地元中小企業等の支援による市内産業力の底上げ
- ⑧農業生産の体制・環境の改善
- ⑨お茶などの市の特産品による地域独自ブランドの確立と収益性の確保
- ⑩様々な災害リスクへの対応強化
- ⑪既存交通拠点の利用促進
- ⑫開発コストを抑えた駅周辺整備の促進
- ⑬通過利用者に向けた菊川市のPR等
- ⑭転入人口、若年齢層人口の定着による都市活力の維持

### 改善戦略(機会を逃さないように弱みを改善する)

- ①自然と調和した屋外環境(施設・公園・空き地等)の整備
- ②学力の向上、進学に対する相談機会等の充実
- ③スポーツ、地域文化に対する市民の関心を醸成
- ④市民の見守りに基づく地域コミュニティ機能の充実(地域福祉の展開)
- ⑤産業活動における新規参入の促進
- ⑥菊川の「特産物」のPR
- ⑦広域交通アクセス性を活かした市外からの人の誘導
- ⑧災害危険箇所の再確認と地域の協力に基づく整備の推進
- ⑨広域交通網とのアクセス性向上(コミバス・道路整備等)
- ⑩菊川駅周辺市街地の改善
- ⑪生産活動と居住、自然環境のバランスに配慮した市街地形成

### 改革戦略(最悪の事態を招かないように弱みを克服し改革する)

- ①暮らしに身近な(商店、各種生活サービス機能を有する)施設の確保
- ②高等・専門性の高い教育機関の誘致検討
- ③スポーツに親しむ機会の充実、啓発活動の推進
- ④安定的な財源確保と効率的な福祉サービスの実践
- ⑤雇用促進策の展開
- ⑥農業従事者の多面的な確保
- ⑦菊川駅周辺等の再活性化の推進
- ⑧ハザードマップ等の見直し、周知
- ⑨交通機関へ利便向上の要請
- ⑩公共施設ストックの適切な維持・管理及び整備の推進
- ⑪菊川駅周辺地域の外部からの吸引力向上
- ⑫若年世代に対する菊川市の住み良さ等のPR

## <まちづくりの課題と方向性(案)>

### 既存産業・特産物を活かした地域振興

- ・既存産業力の維持や雇用の確保
- ・特産物を活かした6次産業化など新たな地域振興の展開
- 【成長戦略⑦⑧⑨/回避戦略①⑦⑧⑨/改善戦略⑤⑥/改革戦略⑤⑥⑫】

### 便利で安全・快適な市街地の形成

- ・適正な土地利用の誘導や利便性の高い公共交通網の形成
- 【成長戦略⑩⑪⑫⑬⑭/回避戦略①⑩⑪⑫/改善戦略⑧⑨⑩⑪/改革戦略⑦⑧⑨⑩⑪】

### 家族形成世代の暮らしの安定を保つ

- ・働く世代の定住促進支援、生活に身近な生活利便施設の確保
- 【成長戦略③/回避戦略③⑭/改善戦略①⑪/改革戦略①④】

### 少子・高齢社会に応じた社会環境の再整備

- ・子どもからお年寄りまですべての市民の暮らしに身近な環境の整備
- ・公共ストック・サービスの適正な維持・管理
- ・安定的な福祉、医療サービスの提供
- 【成長戦略③/回避戦略②⑥/改革戦略②③④】

### 多様な「菊川文化」の醸成

- ・教育、文化、スポーツ活動などを通じて、菊川市の個性を磨く
- 【成長戦略④⑤/回避戦略④⑤/改善戦略②③/改革戦略②③】

### 菊川らしさの共有と外部に向けた都市イメージの確立

- ・「住み良いまち」といった、菊川ブランドの確立と、外部への発信力の向上
- 【成長戦略①②⑥/回避戦略⑬/改善戦略⑦/改革戦略②③⑪】

### 自助・共助・公助による安心安全な環境づくり

- ・住民、地域の主体による生活に身近なまちづくりの展開
- 【成長戦略②/改善戦略③④⑫/改革戦略⑩⑬】

## <まちづくりの基本目標・方針(案)>

### ○地域の良さを伸ばすまち(地域、産業の振興)

- ※地域の特色の見直し、活用による振興
- ※「菊川」の資源を磨き発信する

### ○いつも子どもの笑い声が聞こえるまち

- ※「子ども」が生まれ育つ
- ※子どもが生まれ、育ち、「菊川」に住み続ける

### ○不安がなく安心してすみ続けられるまち

- ※安全・安定した社会環境の持続
- ※若者からお年寄りまで、不安なく安定した暮らしを確保する

### ○暮らしにやさしいまち

- ※暮らしやすい環境を整える
- ※みどり(自然)と、まち(市街地)のバランスを保つ

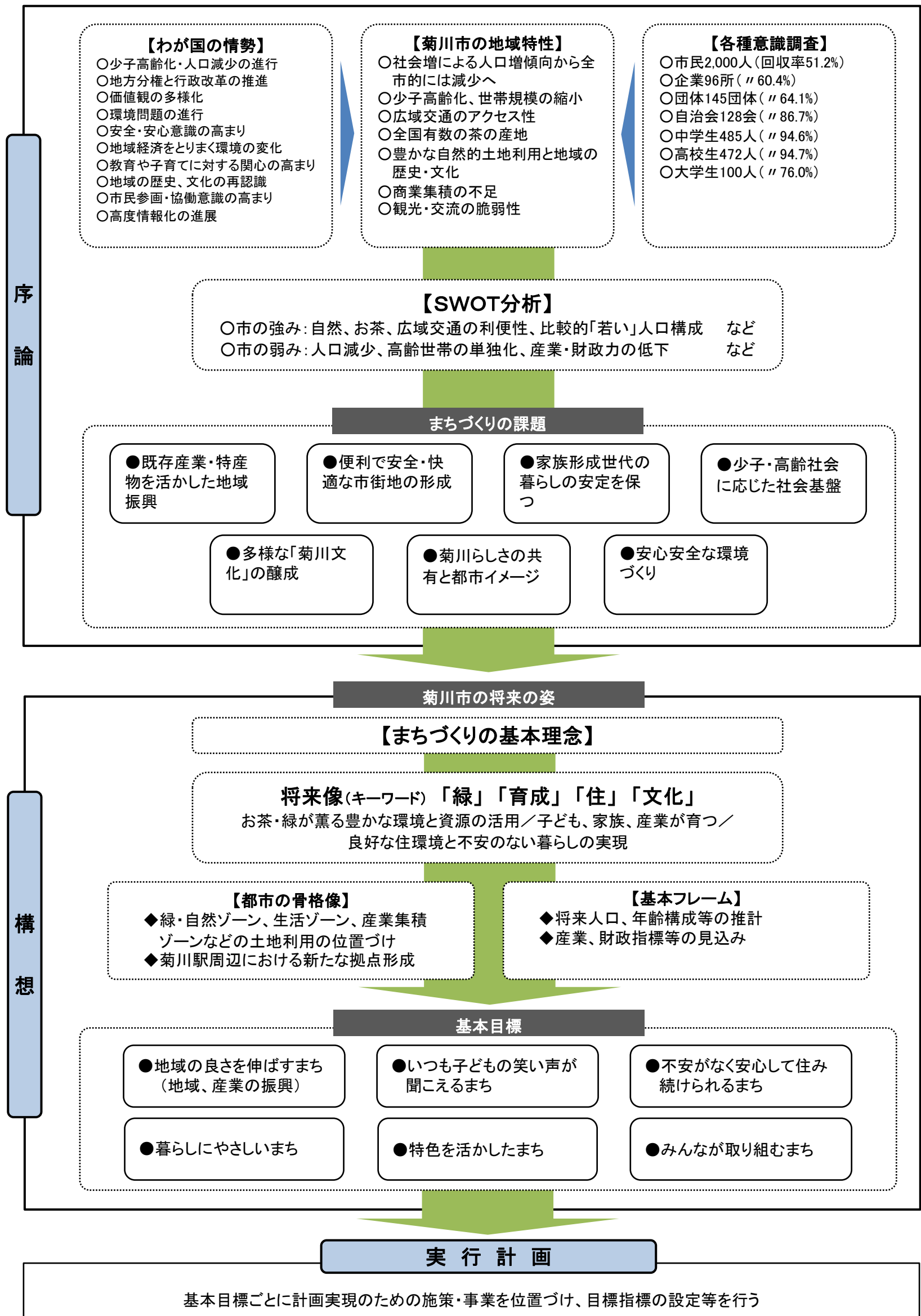
### ○特色を活かしたまち

- ※「菊川らしさ」を確立する
- ※生活文化、教育、スポーツなどにわたって多面的に「菊川らしさ」を深めていく

### ○みんなが取り組むまち

- ※市民が共に行動する
- ※「菊川」のまちづくりを進めるために、多様な主体が支え合い、共に考え、行動する

「基本構想」の骨子



# 第2次菊川市総合計画体系図

